

とんがらし通信



バラの香り、
やっぱり 最高〜♡

No.278

～主な内容～

- ・施設長コラム
- ・活動紹介
(つどいマルシェ、ハワイアンズ
芋煮会 ほか)
- ・突撃!!インタビュー ・つどい応援団
- ・職員コラム ほか

仙台つどいの家 編集室

発行責任者 山口収

発行日 2025年 11月25日

〒983-0836

仙台市宮城野区幸町3丁目12-16

Tel 022(293)3751 Fax 022(293)3752

E-mail sendai@tsudoinoie.or.jp

ホームページ <http://www.tsudoinoie.or.jp>



合理的配慮って何だろう？ の巻

長かった夏がようやく終わったと思ったら、過ごしやすい季節はア～っという間に過ぎ去って、そろそろ本格的な冬に突入しちゃいますねえ。う～ん。とても気持ちのよい季節…。そんな深まりゆく秋を満喫しようと、仙台つどいの家の面々は今日もせっせとお出かけに勤しんでいるのであります！この2か月でみんながお出かけした場所は…プール13回・海を見に・文学館・ランチ7箇所・街中ウロウロ・ヒツジに会いに・カフェめぐり15箇所・霊山こどもの国・百貨店物産展3回・陶芸体験・スパリゾートハワイアンズ・すずめ踊り体験・日帰り温泉5箇所・博物館・理髪店・はらこ飯・フードドライブ4回・芋ほり・松島1泊・芋煮・トマト狩り・根岸ふれあいフェスタ（横浜）・八木山ベニーランド・ガスフェア・虚空蔵尊・バラ祭り・道の駅東松島…ふ～。仙台つどいの家の利用者さん・職員はホントに食欲に外出を楽しんでいるのでした～！

さてこのお出かけ。お楽しみや一人ひとりの希望を叶えるということもさることながら、とっても大切な『意味』があるのですぞ！外出先では、施設の中の活動では得られない生の体験だからこそ予期せぬことがいろいろと起こります。以前にも書きましたが、翠さんが大好きな競馬観戦では福島競馬場内に観客がすぐに利用できるエレベーターがないため、周囲のお客さんにお手伝いしてもらいながらスタンドとパドックを往復します。レストランやカフェに出掛けた時には、メニューに写真や絵がないものも多く、知的なしょうがいのある利用者さんにとっては分かりづらいことが多いです。スーパーなどではセルフ式のレジなどが増えてきていますが、車椅子を利用している人には使いづらいことが少なくありません。。。

『障害者差別解消法』はしょうがいのある人への『不当な差別的取り扱いの禁止』と『合理的配慮の提供』を求めて2016年に施行されました。当初は『合理的配慮の提供』については公的機関は義務化されていたものの、民間事業者は努力義務とされていました。しかし2021年に法改正され昨年4月からは全ての事業者が合理的配慮を提供することが義務化されました。

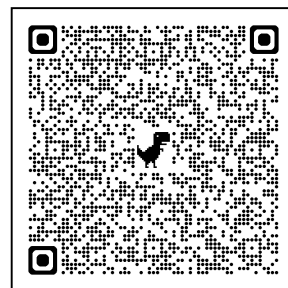
この『合理的配慮』、その難解な日本語のせいかいまひとつ世間に認知されていないように思いますが。簡単に言うと『しょうがいのある人からバリアを取り除くために何らかの対応を求められた際に、事業者は負担が重すぎない範囲で対応すること』です。上の例で言うと、大規模な工事や改修を必要とするエレベーターの設置はすぐにはできなくても、『バックヤードにあるエレベーターの場所を車いすの観客に分かりやすいように明示する』ことはできるわけです。『レストランやカフェのメニューを写真入りのものにして、視覚的に理解しやすいように』したり、『セルフレジにお手伝いをお願いしたい時用のヘルプカードを置く』といった配慮はすぐにできるかもしれません。そして何よりも大切なのは、法改正の内容・合理的配慮とはどういうことかを従業員にきちんと共有して対応できるようにしておくことだと思います。

以前本で読んだ合理的配慮の好事例はパン屋さんの話でした。全盲のお客さんに顔見知りの店員さんが「今日から新商品が発売されました！」と伝えました。全盲のお客さんは「そのパンはどのくらいの大きさですか？」と尋ねます。直接手で触れてもらうのが一番早い方法ですが衛生面からそれはできないため、店員さんはしばし考えてこう伝えます。「お客さま。手をグーにしてみてください。このパンはその大きさです」。

合理的配慮の肝は、しょうがいのある人・事業者の双方が対話を重ねて、社会的なバリアを解消するために共に解決策を検討していく過程です。そのためにも改正された『障害者差別解消法』が多くの人に認知され、正しく理解してもらうことが大切だと思います。

このたび、社会福祉法人つどいの家・つどいの家後援会・つどいの家連合保護会が共催で、『合理的配慮』についての講演会を開催します。福祉関係者のみならず、広く事業者・市民の皆さんに聞いてほしい内容ですので、ぜひお越しください！

（管理者 山口 収）



詳細はこちら↑

第4回！つといマルシェ

10月4日(土)、第4回目となる『つといマルシェ』が今年も開催されました！日頃お世話になっている近隣のお店をお呼びして出張販売や、保護者会によるミニバザーと野菜販売、おやじの会飲食ブース、さんしょグループの手作り品など、おなじみのブースが揃いました。もちろん、もみじグループの『カフェけんじ』も健在です♪

今年も早い時間からたくさんのお客さんが来てくださり、予定より早めに開始！皆さんのお目当てはバザーコーナーのようで、掘り出し物を探して賑わっていました。

利用者さんも各々到着し、普段とは違う雰囲気を感じながら、職員やボランティアの学生さんと一緒に買い物を楽しみ、飲食ブースで秋の味覚さんまやフランクフルト、かき氷などを味わっていました。そしてその後、『味よし』さんのラーメン、『桜蔵』さんのカレーライス、『とんかつくろみ』さんのカツサンド、と事前に選んだ昼食もしっかり食べています（笑）

今年は新たに東照宮にあるとんかつ屋『とんかつくろみ』さんが来てくださり、3種類のカツサンドを販売していただきました。ボリューム満点の見た目に行列ができ、あっという間に完売！追加で持ってきてくださいました。

販売ブースでも昨年同様『一茶』『みやこがね』『酒のかわしま』さんが来てくださり、おやつやお土産を購入する方々で賑わっていました。

8月の夏まつりはあいにくのゲリラ雷雨でしたが、今回のマルシェは晴天の中迎えることができました。ご協力くださった皆様、ありがとうございました。

今回で4回目の開催となり、会場準備をしていると、ふと「つといマルシェ行こうよ！」と通りがかったご家族の話し声が聞こえ、夏まつりと同様に仙台つといの家のイベントとして、地域に根付いているのを実感したマルシェとなりました。次回はどんなマルシェになるのか、楽しみです！

そして会場で好評だった『フォンテーヌ』さんのカップジェラートが、パン工房『めいぷる』にてレギュラー販売される事になりました！近くにお越しの際は、是非パンと一緒にいかがでしょうか？

（記：熊谷）



いわき日帰り！？スパリゾートハワイアンズ



9月26日、福島県いわき市にある「スパリゾートハワイアンズ」に滝口奈美さん、田中七海さん、反怖美月さんが行ってきました。昼食はハワイを代表する料理のロコモコを食べながら、周りの雰囲気笑顔を見せ、ハワイアンズに来た実感が湧いているようでした。その後は、ハワイをはじめ、ポリネシアの島々の伝統や文化を表現する、賑やかで迫力ある生演奏のショーを見てハワイアンな雰囲気に一気に引き込まれていきます。七海さんはキレイなダンサーさんの踊りを、プリンセスのように見つめる笑顔がとても素敵でした。美月さんはファイヤーショーを見て「ひゃー」と大興奮！ダンサーさんから「いいね！」と指さしのファンサービスをもらい、みんなで大盛り上がりでした。フラダンスの場面でもダンサーのお姉さんたちの高い声とぴったり合っていて「もしかして美月さんもフラダンサーだったのかも？」と思えるような素敵な時間もありました。お待ちかねのプールに入るとアクアリウムや上から水が落ちてくるアトラクションのような



な流れるプールを3人とも楽しんでいました。奈美さんは屋外のプールに入ると温泉のように暖かく、それまで少し固かった表情がふっと和らぎ今日一番の笑顔に。浮き輪にもすっかり慣れてリラックスした表情で「ふふっ」と笑う姿が印象的でした。七海さんは移動の時に浮き輪を率先して持ってきてくださるなど、周りを気遣う素敵な姿も見ることができました。それぞれが笑顔溢れる、南国気分な一日を過ごしました。（記：早坂）



横浜日帰り！？根岸ふれあいフェスタ

10月某日、つどいの家とのつながりの深い訪問の家「集」を含む3館合同で行われた根岸ふれあいフェスタがあり、けやきグループ滝口奈美さんとめいぶるグループの大山ゆかりさんが横浜まで日帰りで行ってきました！🚗



朝7時集合でしたが、新幹線ではお二人ともどんどん気分が上がっている様子です。到着すると集の職員さんたちに出迎えていただきました。お二人のことを知ってくださっている方もいて、笑顔で挨拶を交わしています。おそらく初対面と思われる方にもゆかりさんは手を振ってフレンドリーに交流をしていました。焼き鳥やアイスなどを召し上がったり、地区センターで行われていたミニコンサートを鑑賞したりしてお二人とも存分に楽しむことができました。

お昼は横浜中華街🍀奈美さんはレストランに入ると気分が最高潮になり、声を出して大きく体を揺らしたり色々なものに手を伸ばしたりして満面の笑みです。ゆかりさんはワンタン麺セット、奈美さんはホイコーローセットを笑顔で召し上がっています。



慣れない土地で帰りは駅でさまよい歩きましたが、仙台行きの新幹線では、この1日の思い出を振り返りながら笑顔でお話しています。弾丸横浜旅行、お二人の思い出に残ったようで良かったです😊（記：菅原）

芋煮会～秋空の下でいただきます！～



10月に入り、木々の葉も少しずつ色づき始め、秋の訪れを感じる季節となりました。秋と言えば・・・「芋煮！」という事で、もみじ、けやき、くるみ、めいぶる合同の芋煮会を行いました。今年の芋煮会は味噌味。みんなで分担して野菜を鍋の中に入れたり、調味料を入れ、かき混ぜたりと協力して芋煮を作りました。ぐつぐつと煮える鍋からは香ばしい味噌の香りが漂い、けやきの陽介さんや智子さん、めい



ぶるの耕太さんは「出来上がりはまだかな」と鍋の中を覗きにきていました♪くるみの春さんは、何度も薪の様子を確認し、「そろそろ薪、もう一本かな？」と火加減を調整。

味見をしてくれる人を呼びかけると・・・もみじの晃歩さんがスキップをしながら近づい

て来てくれました。「味はどうですか」と聞くとニコリ笑顔でオッケーサイン✧いざ、出来上がった芋煮を皆で食べ、2杯3杯とおかわりする人も多く、秋の味覚をたっぷり堪能しました。（にんじんだけがちょっぴり固めでしたが、それもまたご愛敬…♪）食事の後は、自然を感じながらお散歩する人や、食後のデザートを求め、売店へ走る人、シートの上でのんびりとくつろぐ人など…思い思いの時間を過ごしました。体も心も温まり、

笑顔いっぱいの1日となりましたね(^^)♪（記：小沢）



東北福祉大 パン販売会&学生さんとボッチャ大会

東北福祉大学へ喫茶めいぶるのパン販売へ行きました。販売には福祉大の一年生も数名参加していただきフレッシュな雰囲気の中で販売することが出来ました。今回のおすすめはカボチャやコウモリの形の「ハロウィンクッキー」や風味豊かなずんだが使われている「塩ずんだあんぱん」で、学生さんの授業が終わった瞬間ひっきりなしに列が出来てあっという間に完売。お昼は学食で思い思いのメニューを食べました。今回人気だったのは「カボチャのカルボナーラパスタ」で学生さんと並んで食べるとさらに美味しく感じられます！大野夏海さんはご自分と同年代の方が近くにいるのが嬉しいようで特に目を輝かせていました。今回のメインイベントは社会福祉学科一年生の授業の一環で利用者さんと一緒に「スポーツボッチャ」を体験しました。学生さんと一緒にボールを投げたり補助してもらったり、楽しい雰囲気の中でボッチャをしました。尾崎有さんは普段注目されると緊張してレクリエーションの参加が難しいことがあるのですが「お兄ちゃん！」と言って学生さんと何度もボールを投げる事が出来ました。彩也佳さんの裏テーマは「イケメン探し」。カッコいい学生さんに囲まれて写真撮影をしました。最後は欣也さん十八番の「ねこふんじゃった」のピアノ演奏を聴いてもらい授業が終わりました。利用者さんも若いパワーを沢山もらったのですが、学生さんもしょうがいのある方と関われる貴重な機会となり、今後とも長いお付き合いになればいいなと思いました。（記：松原）



「交流を深めるっていいことだね。つゑちゃんと出会えて嬉しい。」(愛子さん)
「つゑちゃんも嬉しい。」

☆つどいの家でボランティアを始めようと思ったきっかけ

これまでデイサービスや透析で大事にされてきたけれど、こんなことをしていたら頭も体もばかになってしまう。何かしたい、ボランティアなら!と思い、電話して紹介してもらったの。

☆実際にボランティアをしてみてもうですか?

どんな人でも頑張ってる姿にとっても感銘を受けた。ちょっとした悩みでもうだめだと思っても、ここに来ると勇気を貰える。健全で五体満足の人にここに来て見てもらいたい。

☆今までで一番印象に残っている経験は?

旦那さんと二人で生活できたことが一番の幸せ。いつも朝に仏壇の前でお話をしている。旦那さんがいつも近くにいるからつゑは何でもできる。二人で一人前。

☆これから利用者さんと一緒にしたいこと

一緒にパン買いに行ったり散歩したり、みんなと外に出て外の空気に触れるといった活動が、仙台つどいの家のいいところだなと感じる。一緒に外出をしたい!

つどい応援団

イベントへの協力やポスター掲示、募金箱の設置など普段からお世話になっている地域のお店を紹介していくこちらのコーナー。今回は初めてマルシェに参加して下さった超人気店さんにお話をお聞きしました!

とんかつ くろみ 仙台市青葉区東照宮2丁目6-8

テイクアウト専門のとんかつくろみさん。ロースやヒレ、メンチなどのカツ(お弁当に変更も👍)だけでなく、驚くほど分厚いカツが入ったカツサンドも販売されています。自販機も展開されており、現在はお店の前と仙台市内に計8か所設置されています!

はじめに、マルシェの感想をお聞きすると、「本当にあっという間でした」とお話されていました。というのも、販売開始前からお客さんが列をつくって待っており、スタートからわずか10分で完売してしまいました(笑)。急遽お店に戻って追加で作ってくださり再開するも、またすぐに完売...! そんなくろみさんのこだわりは、仕込みに時間をかけ、冷めても柔らかく食べられるようにしているそうです。オーブントースターで温めるとより美味しいそうです😊 売れ筋は、やはりロースカツとヒレカツのようで、自販機メニューではロースとヒレのミックスサンドもあるので、どちらも食べたい方にはぴったりですね♪ また、ロースカツを好きなグラムで注文できるメニュー(260gから10g単位で可能)や、なんとなんとカレーパンもあるそうです!

くろみさんは、手作りのとんかつを食べてもらうことだけでなく、お店に来たお客さんといろんな話をするのが楽しみだと話されていました。皆さんもぜひ、身体も心もあったまるくろみさんのとんかつ、食べてみてくださいね!



Close-up !

たかはし こう た 高橋 耕太さん



仮面ライダーが大好きな耕太さん！！めいぷるグループに所属しパンやお菓子を作って販売もしています。工場の作業が大好きで、特にパン生地を丸めたり伸ばしたりの作業では、優しく丁寧に扱いながら心のこもったパンを作っています。販売活動にも意欲的に取り組んでいて、配達では番重を持ちお金の受け渡し

も職員と一緒にこなしています。そして何より笑顔がとても素敵な耕太さん😊まわりの人を明るく元気にしてくれます。耕太さんから「カツオ」や「あんこ」という言葉が出たら、それは耕太さんの元気のサインです。

一緒に好きなヒーローについてお話をすると、変身ポーズを決めてくれますよ！
お店や販売先で見かけた時にはぜひ声をかけて下さい。

(記：菊地)



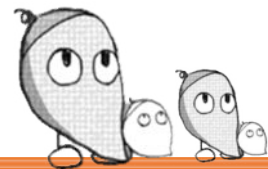
職員コラム

むらやま み お 村山 美音さん

新職員紹介から始まり、今年度二度目の登場をさせていただきありがとうございます！入職して半年が経ちましたが、毎日違った表情を見せて下さる利用者の皆さんにワクワクをもらいながら、それはそれは楽しい日々を送っております。

そんな私の最近のブームをご紹介します。ここ一年、外出先で常に探し、集めているのが「カエル」です🐸私はUFO キャッチャーやガチャガチャが好きで、よく無我夢中になってしまいがちなのですが、そこで私のタイプのカエルに出会ってしまったのがきっかけです。特徴は、目が細く、濃い緑色でリアルに近い、けどどこかかわいげのある子たちです。お気づきの通り、本物のカエルではありません。こんなにも夢中になっているのに、本物のカエルは触れもしません。窓に張り付かれてもしたら鳥肌が立ちます。そんなカエルに愛があるのかないのか分からない私が飼っているカエルくんたちを、是非ご覧ください！





スケジュール schedule

令和7年 12月

4日(木) 生け花

6日(土) 休日開館日

11日(木) 共催講演会 イエローレシート

12日(金) すてーじ

17日(水) 福祉大販売会

18日(木) 生け花

19日(金) フードドライブ

22日(月) 施設懇談会

23日(火) 職員会議

24日(水) ダンス リズム !ダンス!

26日(金) ケース会議 13時30分降所



令和8年 1月

7日(水) ダンス リズム !ダンス!

9日(金) フードドライブ

12日(月) 休日開館日

13日(火) アートの日

16日(金) フードドライブ

19日(月) コンサート

20日(火) 防災訓練

21日(水) 施設懇談会

22日(木) ケース会議 13時30分降所

26日(月) 職員会議



ご協力ありがとうございます

ボランティアとして協力して頂いた皆様

(9月13日～11月10日まで)

吉田さん、日下さん、平さん、伊東さん

見学・来訪者など

音楽療法: 向井田先生・山崎先生・渋谷先生、生け花: 濱谷先生、ダンス リズム !ダンス!: 早坂先生、訪問調査センター、北部アーチル、ホープすずかけ(阿部さん)、あすなろ(田中さん)、ピーススマイル(松山さん、上原さん)、宮城教育大学(高橋さん)、ぶれも(佐藤さん)、新藤さん、フォンテーヌ、ぐれーぷハウスかすみ、ルンバルンバ安養寺、小松島支援学校PTAの皆さま、栢江小学校、小松島支援学校遠山先生、Tagomaru、ABCリビング、ほっこり仙台、ブルームビルド鎌田さん、放課後等デイサービスモークシャ、フラッツ102コンフォート、ますえのもりどうわこども園、社会福祉法人武蔵野デイセンターふれあい上田さん、光明支援学校PTAの皆さま、東北福祉大学3年生長谷川さん、福祉工房、風の郷工房、JCI、ヤクルト、マルキ水産、サトー商会、ほまれフーズ、ダイエイミート、あぐり仙台、日本テクノ、東北食材、ホシザキ東北ほか多数

法人職員: 佐吉、飯田、三浦、森音、榊原、裕絵、川口、彩乃、愛里、佐々木、小宅、靖志、小野(麻)、福地、坂本、菊地、櫻井(コペル)、櫻井(とびら)、村上、遊佐、成田、三塚 (以上ご芳名敬称略・順不同)

今年もブルームビルド株式会社様よりご寄付を頂戴しました。毎年ありがとうございます!

利用者さんの日中活動がより豊かになるように、大切に遣わせていただきます。(山口)

編集後記



今年もあと少しで終わってしまうと思うと戸惑いを隠せない私ですが、後悔のないように、やり残したことは何だろうと考えながら残りの日々を過ごしていきたいと思います…。(芽依)

缶回収

10月・11月分の納品

合計 10,450 円 でした。

ご協力ありがとうございました。



仙台つどいの家「すてーじ」

第1部 講演 社会福祉法人 訪問の家 集 支援課長
川端 望美 氏

第2部 映像発表

わたしたちは、一度
頭の中を真っ白にしてかんがえてみたのです

「本人中心の支援とは？」

そして 出発点を定めたのです
施設でもなく 親でもない
「あなたが本当にやりたいことはなんですか？」

本人の思いの実現・・・そこから見えてきたのは 人とひととのつながり・・・
施設が地域とつながるのではなく、一人ひとりが個人名で出会い
つながっていく

つながりのなかにはコミュニケーション、そして本人の思い、
「みんな自分の思いや夢がある」
「みんな一人ひとりが違う存在」
「やりたいことは自分で決める」

わたしたちは、そんな思いの実現に向けて寄り添っていきます
そんな一つひとつの「思い」や涙と笑いの様子を映像でお贈りします
それが、それぞれの「すてーじ」

日時 令和 7年 12月12日 金曜日

13時00分(12時30分開場)～16時20分

会場 せんだいメディアテーク スタジオシアター

(仙台市青葉区春日町2-1 / 022-713-3171)

入場料 申込不要・入場無料

お問い合わせ 仙台つどいの家(山口・佐藤和・菅原)

TEL : 022-293-3751

E-Mail : sendai@tsudoinoie.or.jp

HP : <http://www.tsudoinoie.or.jp/facility/sendai/>



13:00～ 第一部 講演

川端 望美 氏 講演

『集 と つどい 』 ～集で大切にしていること と つどいの家との繋がり～

今から20年前、社会福祉法人訪問の家に入職し、集に配属になりました。そこから集で20年間、障害のある方々の支援に携わってきました。今も、集の支援課長として、施設長のもと、スタッフと一緒に日々奮闘しています。

2014年11月、仙台つどいの家に実習に行く機会いただきました。たくさんの刺激をいただき、それ以降「集」と「つどい」の交流がより盛んになってきたように感じます。今年の集のお祭りにも遊びに来ていただき、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

今回の「すてーじ」では、私が集で経験したことを通じて、集の活動の様子や、「集で大切にしていること」「その時だからこそ大切にしたこと」などをお話できればと思います。また、なんだか名前も似ていて親近感が湧く「仙台つどいの家」との今までの関わりもお伝えできればと思います。 (川端 望美)

14:20～ 第二部 すてーじ上映

【2018年度作品】高橋智子さんのすてーじ

『みんなで繋ぐ支援の輪』～未来に描く幸せとは～

父は、単身赴任。兄弟は県外での生活。長年母と二人暮らしを送ってきた中での、母の突然の死。

今までの生活とはガラリと一変する。いろいろな人の想いが一つになり、少しずつ生活の基盤を立て直していく…。家族の状況は変わっても、智子さんを中心に、前に進もうとしている家族のカタチを追いました。

作成者：小沢瑞穂（けやきグループ）

高橋邦明さんのすてーじ

『つながり』～自分らしく生きる～

「笑う・怒る・泣く」喜怒哀楽を前面に出しながら仲間や大好きな家族と過ごしてきた邦明さん。いつか訪れる自立に向けて様々なサービスを利用し万全の準備をしてきました。しかし、いざグループホームに入居するも身体が屈折してしまい以前のような喜怒哀楽がなくなっていました。支援員が試行錯誤しながら支援をする中、本当に邦明さんが望んでいたものとはなにか。

作成者：松原聡太（くるみグループ）

櫻井賢治さんのすてーじ

『賢治さんがわたしたちに遺してくれたもの』

令和7年3月4日、もみじグループの櫻井賢治さんが逝去されました。享年48。早すぎるお別れでした。これまで見送ってきた利用者さんたちは、そのほとんどが急なお別れや長期入院を経てのお別れでした。今回賢治さんの病気が分かったときに、大きなショックや動揺の中で、『残された時間を賢治さんらしく豊かに過ごす』というご家族、あるいは賢治さん自身の思いをどうやって実現していくのかを、利用者さん・職員みんながそれぞれに考えたと思います。これで合っていたのかは分かりません。。。でも、この8か月を共に過ごした利用者さん・職員に賢治さんが遺してくれたものはとてつもなく大きなものでした。

作成者：佐藤智昭（さんしょグループ）